

結婚を貴ぶ

2025年7月13日

ヘブル人への手紙 13章4節
創世記 2章15～25節
マタイの福音書 19章4～6節
マルコの福音書 10章6～9節

レビ記 18章6～23節 20章10～21節

序：ヘブル人キリスト者：ローマ帝国の各地に離散、ローマの支配下
同胞の多くはユダヤ教徒
二つの勢力のはざまで、真の神、主イエス・キリストを
信じ、従う歩み（大きな困難、棄教の誘惑）
実際の生活における倫理・道徳（聖書に基づく）
その中で、結婚に関することは、重要な項目の一つ

I. 結婚が貴ばれるべき理由

- (1)創造主である神の制限
神のかたちに（知性、感情、意志／三位一体の神の間にある完全な交わり
男と女に（男から女を創造）
神の代理人として、すべての被造物を治める任務（名をつける、支配する）
それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである
ですから、彼らはもはやふたりではなく一体なのです。そういうわけで、神が
結び合わせたものを、人が引き離してはなりません。
契約 本人、ほかの人間
- (2)結婚の目的 コリントI 7・1～7
①夫と妻が、愛し合い、補い合い、助け合って神に仕えるため
②（きよい）子孫が増え広がるため
③不品行を避けるため

II. 性的罪

- (1)淫行：未婚、既婚、年齢、性別を問わず犯す広い意味の性的罪
- (2)姦淫：既婚者が夫あるいは妻ではない者とともに犯す性的罪、契約を破る

III. 寝床を汚す（性的罪によって） レビ記 18、20章

- (1)隣人の夫あるいは妻
- (2)近親相姦（父と娘、母と息子、兄弟と姉妹、叔父・叔母と甥・姪、
舅と嫁、姑と婿、異母兄弟姉妹、兄弟の妻）
- (3)月のさわりのある女（血の泉をあばく）
- (4)同性（男同士、女同士）間
- (5)獣姦（人間と動物）

IV. 神のさばき

- (1)からだにおいて犯す罪だけでなく、真の神以外のものに心を寄せる偶像礼拝を
主は忌み嫌われる（神と民は夫と妻の関係、結婚の契約を結んでいる）
神は妬む神（愛あればこそ）

- (2)さばきは違反に対して執行される(地上において) (違反者は双方とも)
十戒の第七戒=姦淫してはならない
結婚は契約(ひとりの男とひとりの女、ただし近親結婚、同性同士の結婚は許されていない)
律法によって、違反者は死刑、あるいは厳罰が定められている(神の定めを人間が執行)
神ご自身が直接処罰された例: 同性愛者の巣窟であったソドムとゴモラ滅亡

(3)神の刑罰(永遠の視点で): 御国を相続できない

①エペソ 5・5
…淫らな者、汚れた者、貪る者は偶像礼拝者であって、こういう者はだれも、キリストと神との御国を受け継ぐことができません。

②コリント I 6・9
…正しくない者は神の国を相続することができません。…淫らな行いをする者、偶像を拝む者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者…はみな、神の国を相続することができません。

③ガラテヤ 5・19～21
肉のわざは明らかです。すなわち、淫らな行い、汚れ、好色、偶像礼拝…泥酔、遊興…このようなことをしている者たちは神の国を相続できません。

V. これらの罪の現実

- (1)人間が神に背いた瞬間墮落した。それ以来、罪と死が入った。罪悪ははびこり、深く浸透し、ますます多様化した。
- (2)無神論の上に立てば、人間が最高位。何でも判断できる、決められる、人間の都合、時代の変遷に合わせて自由に変えられる
結婚、性に関しても基準は定まらないことになる ついに、カオスと化す
- (3)健全な結婚観、家庭観、人生観、世界観は聖書がなければ、築けない
メディアや身近な人からの情報、自分の考えや経験だけに頼った価値観だけでは危ない
世界全体、国家、社会、家庭、学校、職場…方向性と秩序を失って将来に希望が持てない
少子化: 結婚する人の減少、経済的貧困/単身家庭増加、人間関係希薄化
LGBTQ+
- (4)今の世界は、結婚や性に関して奔放・自堕落・無責任、無思慮すぎて、さらに新たな問題、苦悩、犯罪まで引き起こしているのが恐ろしい現状/見て見ぬふり看過、でやり過ごせることだろうか?
キリスト信者なら、憂い、恐れ、自戒も覚えて、自問しないだろうか
さばきをなさる神の目にどのように映っているか?
- 実際、性的マイノリティ問題で犠牲になっているのは、大多数のそれ以外の人々である。特にこどもや婦女子に危険が及んでいる
性的マイノリティの方々がおられることは確かだが、神の制定にそむき、強引に法制化するのとは可?

(5)良い方向に変わるには、

①神を信じる個人が増えること(新しく生まれ、変えられる、真の信仰者が起こされること)

②新しい神の家族が加えられて、真の教会が強められ、活力をもつこと

③信仰者同士の結婚、未信の配偶者や家族の救いによって、クリスチャンホームが築かれること

④信仰者の基準、生き方、ことば、働きが、少しづつあるいは速やかに周囲にも変化をもたらすようになる